

「触媒化学と分析技術の新展開」

趣旨 本ワークショップでは、表面化学や様々な分析手法を研究されている研究者に、触媒開発と分析技術の最前線を紹介していただき、これから触媒化学に求められる新展開について熱く語って頂きます。幅広い分野の方に参加して頂き、新しい潮流の芽を生み出す契機となることを期待しています。

主催 触媒学会界面分子変換の機構と制御研究会・日本表面真空学会触媒表面科学研究部会
協賛 分子科学会, ナノ学会

日程 2018年6月29日(金)

場所 大阪大学 理学部 J棟2階 南部陽一郎記念ホール

参加費 <http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/access/campusmap/>
一般(触媒学会・表面科学会会員 ¥2,000、協賛学会会員¥3,000、その他 ¥4,000)
学生 無料

申込方法 下記のサイトからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S21717451/>

申込を受け付けた方には確認メールをお送りいたします。メールに記載の銀行口座に、6月15日(金)までに振込みをお願いいたします。領収書は当日会場にてお渡し致します。

申込締切 6月8日(金)(申し込みが50名に達した時点で締切とさせていただきます)

連絡先 触媒学会「界面分子変換の機構と制御研究会」世話人代表

大阪大学理学研究科化学専攻 奥村 光隆

email: ok@chem.sci.osaka-u.ac.jp

日本表面真空学会触媒表面科学研究部会部会長

大阪大学基礎工学研究科合成化学専攻 福井 賢一

email: kfukui@chem.es.osaka-u.ac.jp

13:00-13:30	受付	
13:30-13:35	趣旨説明	奥村光隆(大阪大)
13:35-14:05	電子顕微鏡による触媒材料の構造解析	秋田知樹(産総研)
14:05-14:35	高強度微小X線を利用したタンパク質の高分解能構造解析	平田邦生(SPRING-8)
14:35-15:20	可視光水分解のための新規複合アニオン型光触媒の開発	阿部 竜(京都大学)
休憩		
15:40-16:10	X線吸収分光と量子化学計算の融合による、均一系触媒反応機構の解析	高谷 光(京都大学)
16:10-16:40	ファンデルワールス密度汎関数を用いた触媒反応の研究	濱田 幾太郎(大阪大学)
16:40-16:45	まとめ	福井賢一(大阪大)